



第1回親子会議報告

平成26年5月26日
小美玉市立堅倉小学校

平成26年度第1回親子会議へのご協力をいただき、ありがとうございました。

今回は、春季の開催が2年目となった運動会について、自分がかんばったこと、友だちや他学年の人の様子を見て感じたことなどを思い出して話し合っていました。

返却されたシートを読みながら、一人一人がいろいろな思いで競技に臨んでいたことや、ご家族の皆様も温かく見守りながら応援して下さったことが伝わってきました。新年度が始まって2か月足らずですが、子ども達には大きな自信が付き、これからの学校生活に希望をもって取り組んでいけそうだと期待をしています。これからも、ご理解とご協力をお願いいたします。

ご意見やご感想の一部を紹介いたします。

Q1 自分が、かんばったことは？

- ・かけっこで一等賞になれるようかんばって走りました。
- ・玉入れで、かごをよくねらって誰よりもたくさん入れようかんばりました。
- ・大玉ころがしで、ジャンプして大玉がさわれてうれしかったです。
- ・3位以内に入れるようにと、自分の目標を立てました。
- ・速く走れるように、朝練習をしました。
- ・練習の時よりもチームでうまく走れたので、かんばってよかったなと思いました。
- ・つな引きで、体が地面に付くくらいに力いっぱい引っ張りました。
- ・応援歌を大きな声で思いっきり歌いました。
- ・知らない人でも、同じ組の人のことを一生懸命に応援していました。
- ・紅白対抗リレーで、お友だちもお父さんとお母さんもみんなで応援してくれたので、「絶対に負けないぞ!」と力いっぱい走りました。
- ・徒競走ではくわしい思いをしたので、よさこいソーランでは誰よりもきれいに踊りました。
- ・ダンサーズとして、前列で苦しくなっても笑顔で8分間踊りました。

Q2 友だちや他の学年の人が、かんばっていたことは？

- ・転んでもあきらめないで最後まで走っている人を見て、えらいなと思いました。
- ・紅白対抗リレーで、友だちの「負けたくない!」という気持ちを感じました。
- ・応援団の人たちが、大きな声で一生懸命に応援してくれていました。
- ・友だちが、友だちのことをものすごく応援していました。
- ・お兄ちゃんが、係のお仕事をかんばってやっていました。
- ・高学年のお兄さん、お姉さんたちは、テントの中で休まずにずっと私たちのために暑いのお仕事をかんばってやってくれていました。
- ・よさこいソーランのダンサーズたちの踊り方がすごくかっこよく、上手だなと思いました。
- ・同じつな引きでも高学年のパワーは全然違って、すごいなあとびっくりしました。
- ・審判係で玉入れの担当をしましたが、入学してわずか1年生が、勝ちたいという思いで真剣にかんばっていました。



話し合った感想

- ・お父さんにかっこよくかんばったことをほめてもらえて、うれしかったです。
- ・知っている友だちを見ると、「〇〇ちゃんもかんばっている。」と思ってうれしかったです。
- ・負けたとしても、一生懸命にかんばっている姿はキラキラ輝いていました。
- ・一生懸命になることは、すがすがしくて、とてもいいものだなと思いました。
- ・個人走もかんばったけど、団体種目もかんばりました。個人で勝つのもうれしいけれども、お友だちみんなで勝った方がうれしかったです。
- ・自分自身が全力で1位になり勝つ喜びも大切だが、もっと大切なのは、クラスの友だちと一人一人の力をまとめ、勝ちにいくことだと思いました。
- ・テーマを決めて話し合ったことがなかったので、子どもとじっくり話し合う機会ができてよかったと思います。
- ・「親子会議」の意義や、親子で話し合うことの大切さが分かってきました。
- ・自分の学年だけでなく、他の人たちの種目もきちんと見ていたんだなあと感心しました。
- ・子どもたちが立派にかんばる姿を見て、私たちも励まされました。
- ・話しているうちに、来年の運動会が楽しみになってきました。
- ・競技のタイトルのように、「心をひとつに」することができたなと思いました。
- ・「何を」かんばったのかだけでなく、「どんなふうに」かんばったのかを、具体的に考えながら話してくれました。
- ・「負けたことはかんばったことにならない」という考え方もありますが、そうではないと話し合うことができました。
- ・順位ではなく、一生懸命にかんばったという「自信」や友だちとの「協力」ということの大切さ、勝敗よりも大切なことについて親子で話し合いました。